

Ⅱ. 建築計画

1. 設計趣旨

○境港市の文化・芸術の拠点となる施設

本施設の特徴はホール、図書交流広場、美術展示機能を備えた会議室の複合施設であることです。音楽・演劇、図書館、美術関係の方々など、県内で市民芸術文化による地域振興の実践を行っている組織・施設と連携し、相互的な地域間交流を図ります。また市民に日常的に音楽や演劇に触れていただき、芸術文化が身近な生活の一部となるような環境をつくります。

○市民の交流の場、コミュニケーションのステージ

市民交流センター（仮称）は子供から高齢者までの世代を越えた市民のコミュニケーションのステージです。市民芸術文化を通じた交流によりコミュニティを維持し地域の再生へとつなげ、音楽、演劇、美術、文学や歴史（図書）が緩やかな共同体をつなぐ役割を担います。

○市民と自衛隊との交流拠点となる施設

市民交流センター（仮称）全体で市民と自衛隊員との日常的な交流を促進し、自衛隊活動への理解を深めます。ホールでは自衛隊音楽隊による定期コンサートや災害派遣等に従事した自衛隊員による公演会等を開催するほか、自衛隊活動の常設展示コーナーを設置します。

○賑わいを生み出す「弓ヶ浜広場」の創出

建物の正面エントランスに弓ヶ浜半島のゆるやかな曲線をイメージした弓ヶ浜広場をつくります。弓ヶ浜広場はエントランスホール、ホールと一体となって市道元町中野線に面して、地域に賑わいと活気を生み出します。日常的には駐車場、イベント時にはイベント広場として利用が可能な多目的な広場として整備します。

○地域の防災拠点となる施設

建物は災害対策本部機能や住民の避難場所機能を備えた災害時の防災拠点とします。したがって、「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」（監修：建設大臣官房官庁営繕部）をもとに耐震安全性の目標を定め、構造体・建築非構造部材・建築設備を位置づけます。

○境港市の気候風土・自然力を最大限活かした施設

中間期の北東からの卓越風を利用して、エントランスホール上部の屋根の誘引効果と煙突効果により効果的に自然換気を行います。外装仕上の選定、屋外設備機器などは塩害に配慮した仕様とします。

また、エントランスホール上部の屋根架構は県産木材を利用した屋根架構とし、また、内装材にも木材を多く利用し、暖かみがあり市民に永く親しまれる施設とします。



弓ヶ浜広場と建物外観のイメージ



エントランスホールのイメージ